

平成30年度 学校経営計画

学校名	石川県立金沢伏見高等学校
校長	徳田伸一

1 教育目標

誠実、聡明で品位があり、論理的な思考力や創造力を身につけた、社会に貢献できる心豊かな人間の育成をめざす。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 生徒の進路志望が多様である状況をふまえ、授業改善、進路指導の充実に取り組んでいる。国公立大学への合格者を増加させるなど、普通科高校としてより高い進学実績が求められている。
- ② 明るく素直な生徒が多く、学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等様々な教育活動を通して、生徒が自己肯定感を持ち合いを認め合おうとする気運がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 基本的な生活習慣・規律ある高校生活を体得し、社会に有為な人材として輩出する。
- ② 授業を基本としながら、家庭学習習慣の定着を図り、基礎学力を伸張する。
- ③ 生徒会活動や部活動、学校内外の体験活動をとおして主体性、協調性、ボランティア精神を育む。
- ④ 生徒一人ひとりの興味・関心・能力・適性に合った進路指導を行うとともに、より高い目標への挑戦・達成に向けて意識改革を図る。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 本校の使命、今後あるべき姿を教職員一同が共有し、各校務分掌が有機的に機能するよう組織的・機動的な学校運営を行う。
- ② プロ集団として十分な教材研究を行う一方、公開授業や授業評価等をとおして不断に授業改善に努める。
- ③ 進路研究を深め、個に応じた指導法の研究・開発を行い、中堅進学校としての地歩を固める。
- ④ 学校の教育活動を保護者・地域・中学校等に積極的に広報し、地域から信頼される学校づくりに努める。
- ⑤ 教職員がワークライフバランスをとりながら、自らの人間性を高め、生徒に対して効果的な教育活動を行う。

3 今年度の重点目標

- (1) より高い目標に挑戦する生徒を育成するとともに、その目標実現のために生徒一人ひとりに応じたきめ細かな進路指導を行う。
- (2) 教職員自らが資質向上に励み、不断の授業改善により生徒の学習意欲を高め自ら進んで学ぶ態度を育成する。
- (3) 教職員が自らの勤務状況を見直し、業務改善を図ることにより、教材研究・授業準備や生徒と向き合う時間を十分に確保する。
- (4) あらゆる教育活動を通して、規律ある学校生活を送り、誠実で品位ある心豊かな生徒を育成する。
- (5) 学校の魅力を積極的に発信し、保護者や地域から信頼される学校づくりを目指す。